

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2015

8月

No.122

特集 P2・3

みなさんとともに
宍粟の地域福祉を創って10年!
宍粟市社協のあゆみ 2005〜2015

ひ孫と
いっしょ

シリーズ 121

一宮町 福野

おさだ たけいち
長田 竹一さん(81歳)

オタネさん(83歳)

○ 柚来ちゃん(2歳)

○ 紗来ちゃん(1歳)

たかはし しょうた ゆみこ
高橋 翔太さん・佑美子さん

■長女・二女

を創って10年!

2005～2015

宍粟市社会福祉協議会は、7月1日で発足10周年を迎えました。今月号では、本会が、**市民のみなさまと共に歩んできた10年**をいっしょに振り返ります。

2010 (H22年度)	2009 (H21年度)	2008 (H20年度)	2007 (H19年度)	2006 (H18年度)	2005 (H17年度)	年表
*訪問介護事業所「みなみ」きたに統合 *災害ボランティア感謝のつどい開催 *第2次地域福祉推進計画策定委員会設置 *第3回宍粟市地域福祉のつどい開催	*第3期理事体制スタート 第2代会長に鶴崎和宏氏就任 *宍粟市災害ボランティアセンター設置(台風9号豪雨災害) *宍粟市復興支援ボランティアセンター開設(3月末まで) *「しそう1・17のつどい」開催 阪神淡路大震災15年記念事業参加 *介護員養成研修2級課程開講(24年度まで実施)	*第2回宍粟市地域福祉のつどい開催 *高野山真言宗播磨参与会から移送車両寄贈 *災害救援マニュアル携帯版作成 *職員人事考課開始 *第1回宍粟市チャリティゴルフ大会開催(毎年開催)	*第2期理事体制スタート 会長に春田重行氏再任 *イメージキャラクター「ぼらんちゃん」誕生 *宍粟市出合いサポートセンター開設(市受託) *第1次地域福祉推進計画策定(H19～H21) *災害救援マニュアル策定 *赤い羽根ふくし映画会開催(2年に1回開催) *自治会別懇談会スタート(全自治会実施を目指す)	*支部ごとに地域福祉推進委員会を設置 *第1回宍粟市地域福祉のつどい開催(2年に1回開催) *赤い羽根こども劇場開催(毎年開催) *お達者クラブ(介護予防普及啓発事業)全支部実施 *「社協と福祉活動についてのアンケート」実施 *福祉有償運送事業開始	*宍粟市社協発足(7月1日) 初代会長に春田重行氏就任 *社協広報紙「こんには! 社協です!!」創刊 *宍粟市社協ホームページ開設 *宍粟市福祉支援ネットワーク連絡会発足(本会事務局) *「短期里子事業50周年記念シンポジウム」開催 *第1次地域福祉推進計画策定委員会設置 *災害救援マニュアル策定委員会設置	宍粟市社協10年のういき



“ぼらんちゃん”



地域福祉推進計画・災害救援
マニュアル・携帯版



社協広報紙



災害救援ボランティアバス運行
(2011.4 宮城県岩沼市)



自治会別懇談会
(2007～ 市内の各自治会にて)



宍粟市社協発足
(2005.7.1 一宮保健福祉センター)



小地域福祉活動モデル地区指定事業
(2012～ 市内の6自治会を指定)



平成21年台風9号豪雨災害
(2009.8 宍粟市内)



宍粟市地域福祉のつどい
(2011.2 宍粟防災センター)



みなさんとともに災害の地域福祉 災害市社協のあゆみ

2015 (H27年度)	2014 (H26年度)	2013 (H25年度)	2012 (H24年度)	2011 (H23年度)	
* 災害市社協発足10周年(7月1日) * 第6期理事体制スタート 会長に森本都規夫氏再任 * 災害市社協ホームページリニューアル * 「子どもホームステイ事業60周年記念フォーラム」開催 * 第3次地域福祉推進計画策定委員会設置 * 災害市社協発足10周年記念事業「フォーラム、記念誌発行」	* 組織機構改革による4課体制(総務、生活支援、地域支援、介護福祉) * 社会福祉法人新会計基準移行 * 「丹波市豪雨災害」ボランティアアワード表彰 * 西播磨圏域成年後見支援センター設立準備会発足 * 介護職員初任者研修(旧2級ホームヘルパー)開講 * 阪神淡路大震災20年記念事業参加 * 災害ボランティア養成講座開催 * 福祉委員研修会4支部開催 * 「第5回災害市地域福祉のつどい」開催	* 第5期理事体制スタート 第3代会長に森本都規夫氏就任 * 災害救援ボランティアバス・ウゴン運行山口県萩市・京都府南丹市 * 災害市社協が「全国社会福祉協議会会長表彰」受賞 * 災害市社協ボランティアセンター運営模範訓練実施(毎年実施) * 障がい者相談支援センター「ゆめがらん」開設 * 社協広報紙「こころ」には「社協です!!」創刊100号(10月) * 中央共同募金会から買入物送迎サービス「お出かけ」取材 * 組織経営検討委員会設置	* 支部福祉だより「かわら版」4支部発行(毎年2回発行) * 「第4回災害市地域福祉のつどい」開催 * 第1期セカンドライフ応援セミナー開催(毎年実施) * 小地域福祉活動第1期モデル地区指定事業実施(2年間、第2期H26) * 役員業務研究会設置(第2次計画重点事業調査・研究) * 大規模災害時の事業継続計画(BCP)策定	* 「東日本大震災」宮城県南三陸町に職員派遣 * 災害市社協ボランティアセンター機材搬送宮城県石巻市 * 第4期理事体制スタート 会長に鶴崎和宏氏再任 * 「東日本大震災」救援活動 宮城県南三陸町・気仙沼市に職員派遣 * 「台風12号豪雨災害」和歌山県新宮市・那智勝浦町に職員派遣 * 災害救援ボランティアバス運行(宮城県岩沼市・那智勝浦町・淡路市) * 第2次地域福祉推進計画(つながりふくしプラン)策定(H23～H27) * 災害救援ボランティア活動支援マニュアル・携帯版改訂	



「1.17のつどい」
実行委員会から感謝状

みなさん
ご参加下さい

災害市社協発足10周年記念講演会



なきがらに笑顔に戻し、遺族の深い悲しみを生きていく力に変える。東日本大震災後津波で亡くなられた方300人以上の尊顔をボランティアで復元した女性納棺師が語る生と死の感動のお話。

心のおくりびと 3.11 大震災から

講師 笹原留似子さん(復元納棺師)

とき 9月6日(日) 午後1時から

ところ 山崎文化会館(サンホールやまさき)

プログラム 13:00～社協発足10周年記念式典(社協合併功労者表彰・感謝状贈呈)
14:00～記念講演会(復元納棺師 笹原留似子さん講演会)

講師プロフィール 1972年北海道札幌市生まれ。復元納棺師として株式会社「桜」の代表を務める。東日本大震災では、発生後まもなく沿岸地域に入り、津波や火災で損傷を受けた遺体を生前の姿に戻す「復元ボランティア」に献身した。現在は納棺のかたわら、被災者支援の活動や、子どもたちに命の大切さを伝える講演活動を行っている。2012年、社会に喜びや感動を与えた市民に贈られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞。



セカンドライフ応援セミナー
(2013.2 6回シリーズで開催)



支部地域福祉推進委員会
(2006～ 各支部ごとに設置)

や
まさき

いつでも気軽に寄れる居場所

野自治会『憩いの場』

野自治会では、お年寄りの『憩いの場』として、公民館を365日いつでも利用できるよう開放しています。

7月29日(水)訪ねてみると、4人の方が折り紙や編み物に取り組まれていました。

世話役など難しいことは決めず、「2人寄ったら開ける」が活動のルールで、その日の参加者で公民館を管理して、集うことを楽しんでいます。

「元気でおれるんも、ここがあればこそ。ありがたいなあ」「ここに来たら誰かに会えるし元気がもらえるんや」と、公民館が地域に必要な居場所になっています。少しずつ作った手芸品を、近くの保育所や近所の子どもたちへプレゼントするのも楽しみの一つです。

参加者は、80代の方が多く顔を合やすことで安否確認にもなり、暑い夏場は涼しい公民館で過ごしながら



楽しく話ながら手芸中。30年以上前から参加されている方もあり、とても長く続いている『憩いの場』(野自治会公民館)

クールシェアをして、熱中症予防にもなっています。
「元気で喜んでもらえたら何より。利用料はもらわず長く気軽に使ってもらえるよう応援しています」と、自治会長石原春一さん。
気軽に寄れる居場所は、参加者の一人ひとりが主役となる場所であり、孤立や閉じこもりを防ぐ社会参加の拠点として機能しています。

(山崎支部 森井裕矢)

い
ちのみや

草刈で生活支援しよう!

おちやま 百千家満老人クラブ

百千家満老人クラブは、今年度「のじぎくクラブ兵庫(県老人クラブ連合会)」の助成事業を活用し、「安心・安全の地域づくりのための会員支援合い事業」に取り組まれています。

会員は65人、うち15人がひとり暮らしです。

ひとり暮らしの方にとって、夏場の草刈りや積雪時の除雪は大きな負担となるため、以前から住民同士が助け合いを行ってきました。

しかし、当事者から「困っている」とはなかなか言いにくく、支える側も少なからず気兼ねがあり、地域課題の一つとなっていました。

そこで、助成金を活用しわずかながらもお礼を出すことで、お互いが気軽に声をかけやすい仕組みになれば、と始められました。

7月4日(土)は、4人



月1回の定期的な活動は、助成金が有効に活用されています

の会員がひとり暮らしの方の家屋周辺の草刈りで汗を流しました。
「いずれ誰もがちよつとした助けが必要になる。困った時に助け合えるきつかけにした」と会長の薄木喜久久さん。
同クラブは、今後も話し合いを重ね、日頃の助け合いを次につなげる仕組みとして力タチにしていこうと決めています。
みなさん。年をとつても住み慣れた地域で自分らしく過ごすために、今何ができるか、地域のみなさんといっしょに考えていきましょう。
(本部・一宮支部 三宅あゆみ)

は
が

出前の喫茶はいかがですか

飯見ふれあい喫茶

7月26日(日)、飯見自治会総出の草刈り作業が行われ、この日は、公民館でふれあい喫茶もありました。

そんな中、気温が上がってきた9時頃、草刈り作業中のみなさんへ冷たい飲み物を届ける出前型の「喫茶」も行われました。

飲み物は44人分が届けられ、田んぼのあぜや道端などあちこちで、作業の手を休めて喉を潤し一息つく光景が見られました。

飯見自治会では、8年ほど前からふれあい喫茶の開催日に「出前喫茶」が年数回行われるようになり、福祉委員も関わりながら喫茶の運営をしています。

「暑い中作業して公民館に来られない人たち



「暑い中お疲れさん。休憩してよー」「ありがとう。待とったで」
(むつみ園付近)

へ、こちらからお届けします」と、喫茶代表の「一野文代さん」。

喫茶のボランティアが「地域のために新しい何かをしたい」と始まった出前型の喫茶。いろいろな手法でふれあいの場が生まれています。皆さんの地域でも始められてはいかがですか。

(波賀支部 平 有利菜)

ち
くさ

ボランティアまつりを私たちで!

千種ボランティア連絡会

7月18日(土)、千種保健福祉センターを会場に、「第15回ちくさボランティアまつり」を開催し、約150人が参加されました。

この催しは、千種ボランティア連絡会と本会の協力により毎年開催しており、今年度は、まつりに向けた準備会を同連絡会で立ち上げました。

「今年の出し物は…」「当日の準備や流れをどうするの」「みんなで楽しむつりにしよう」など、議論を重ね準備を進めました。当日は腕章をつけた運営スタッフのリーダー20人が各コーナーを担当し、来場者をもてなしました。

会長の一坪光恵さんからは「当日までの準備が大変だったが、連絡会の協力で進めることができて本当によかった」との声が聞かれました。



各コーナーでスタッフは大忙し(千種保健福祉センター)

今回、来場者に喜んでいただけたのは連絡会のみなさんがまつりを盛り上げようと積極的に取り組まれたからです。

来年も、連絡会が中心となつてまつりを盛り上げていけるよう応援していきます。

(千種支部 小原志のぶ)



スタッフの腕章

お知らせ ふれあい郵便 「あいめ〜る」のつどい♪

「あいめ〜る」とは、波賀の民生委員児童委員さんが、ひとり暮らし高齢者の希望者に友愛訪問や声かけをかねて「おたより」をお届けする活動です。

「おたより書き」は、地域の個人ボランティアさんに担っていただいておりますが、利用者の皆さんや配達係の民生委員児童委員と直接顔を合わす機会がなく、「相手を思って手紙を書いてみたい」と意見を受け、この度、下記の交流会を開催します。

この機会に「おたよりボランティアをしてみたい」と思われる方もお待ちしております。是非ご参加ください。

- 《日 時》 8月25日(火) 13:30~15:00
- 《場 所》 メイプル福祉センター(波賀)
- 《内 容》 あいめ〜るの概要説明と
意見交換会(茶話会)
- 《参加費》 無料
- 《申込/切》 8月24日(月)



▼お問合せ
波賀支部 75-3631

写真:波賀中学生「おたよりボランティア活動」の様子

ボランティア センター日誌

「手作りのぬくもりを」



目を輝かせている子どもたちをみて励みになってます

7月29日(水) 河東学童保育所で影絵

影絵サークル「ラビット」のみなさんが、学童の子どもたちに影絵を披露しました。

この日は、影絵を3作行い、生の音楽に合わせて綺麗な光と影が体育館の中を照らしました。

代表の大上雅代さんは「光と影の美しさを見てもらいたいですね。そして、想像力を膨らませ楽しんでくれたら嬉しい」と話されます。子どもからは、「影絵を見て優しい気持ちになれた」と感想が聞けました。

最後に、子どもたちがリクエストした人形の作り方も教えていただき、楽しい時間を過ごせました。

影絵サークル「ラビット」のみなさん、これからの活躍に期待しています。
(山崎支部:横山洋子)

暑さに負けない! 市内のイベントでボランティアが大活躍!



7月18日(土)ちくさボランティアまつり

千種保健福祉センターで「第15回ちくさボランティアまつり」を開催しました。約150人の参加があり、喫茶やゲーム、スタンプラリーやバザーなど盛りたくさんの内容を楽しみました。

7月26日(日)メイプル夏まつり

メイプル福祉センターで「メイプル夏まつり」を開催しました。約600人の参加があり、バルーンパフォーマンスショーをはじめ夜店などの縁日コーナー也大賑わいでした。最後は、恒例の花火大会で夏の夜空を楽しみました。



8月2日(日)やすらぎ福祉フェスタ2015

一宮保健福祉センターで「やすらぎ福祉フェスタ2015」を開催しました。約150人の参加があり、小西達也さんのコンサートやMokumocoの演奏、福引などで賑わいました。